

4月

みんなくウィークエンド・サロン

研究者と話そう

■時間 14時30分から15時30分

■展示観覧料が必要です。

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

1日

(1100日)

話者：須藤健一（国立民族学博物館長）

話題：織りと樹皮布づくり

場所：本館展示場内ナビひろば

8日

(1100日)

話者：ピーター・マシウス（国立民族学博物館 准教授）

話題：民族植物学の旅：くらしの中のはっぱ

場所：本館展示場内ナビひろば ※通訳あり

15日

(1100日)

話者：西尾哲夫（国立民族学博物館 教授）

話題：新生アラビア語が生んだ“フェイスブック革命”

場所：本館展示場内ナビひろば

22日

(1100日)

話者：菅瀬晶子（国立民族学博物館 助教）

話題：邪視とカメレオン——東地中海地域の俗信

場所：本館展示場内ナビひろば

29日

(1100日)

話者：飯田卓（国立民族学博物館 准教授）

話題：【特別展「今和次郎 採集講義——考現学の今」関連】
デジカメとパソコンで考現学

場所：特別展示館

1年間みんなくは何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいです。

特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引

◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引

◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。

詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。

(電話06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)

編集後記

本号は特集テーマとして4月26日から開催される特別展「今和次郎 採集講義——考現学の今」にちなみ、考現学をとりあげた。前号3月号では、おもに失われたものの復興・再現・復元がテーマであったが、今回は現在、そこ、ここにある日常をいかに記録し、また保存するかということになる。未来を見据えたうえで、現状を記述した展示するという点で、民博の使命の一翼になう博物館活動の原点にたちもどることにもなる。

本号から「連載リレー 知の収蔵庫」「異聞逸聞」があらたにはじまった。前者は民博の研究者を中心に、自己の研究から広がり、つながっていく視野と関心の世界について執筆者それぞれに3回連続で語ってもらう。研究者の、普段の研究からは見えにくい、いわば舞台裏にまで踏み込んだものになることを期待している。後者では、研究者が、一般にはほとんど知られない事実や誤って伝えられている事柄に関して、フィールドで接した情報や体験からのべる。いずれも民博ならではの、というコーナーになれば幸いである。ご意見、ご要望など歓迎します。(庄司博士)

●表紙：モンゴル国アルハンガイ省、春營地にて。2011年5月 撮影：堀田あゆみ
現代の遊牧民が暮らすゲルには、ソーラーパネル、パラボランテナが。家族そろっての遠出には、バイクが大活躍。1944年、現・張家口市に置かれた西北研究所（所長：今西錦司）を拠点に、梅棹忠夫らは内モンゴルを調査した。当時の調査記録と比較すると、モンゴル生活文化における不易と変化が見えてくる。これも考現学である。

次の予告

特集

博物館と博情報（仮）

月刊みんなく 2012年4月号

第36巻第4号通巻第415号 2012年4月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1

電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂

編集委員 庄司博史（編集長） 樫永真佐夫 川口幸也

久保正敏 菅瀬晶子 中牧弘允 山中由里子

編集アドバイザー 山内直樹

デザイン 宮谷一欒

制作・協力 財団法人 千里文化財団

印刷 日本写真印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分

●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。）

●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。

●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてできます。

みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

